

肝癌薬物療法のリアルワールドデータを活用したオールジャパン研究

1. 研究の対象

2015年4月1日～2030年12月31日の間に、中央病院・東病院で肝がんに対する薬物療法を受けた方。

2. 研究目的・方法

研究の目的

本研究では、日本における肝がん薬物療法の実際の使用状況のデータを集積します。大規模データの解析により、最適な治療順を評価することを目的とします。また、治療コストに関するデータも収集し、医療経済的な側面からも各治療を評価することを目的とします。

研究の方法

この研究は、国立健康危機管理研究機構倫理委員会の承認を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。NCD参加施設において2015年4月1日以降、中央病院・東病院で肝がんに対する薬物療法を受けた場合、その都度、臨床情報を収集します。

研究実施期間： 研究許可日～2030年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

生年月日、初発時年齢、性別・臨床診断日、身長、体重、血液検査データ、薬物治療の種類、治療期間、予後、等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 利益相反

この研究に関する費用は、厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）「日本における肝癌治療の実態把握と費用対効果の検証についての研究」および厚生労働行政推進調査事業費（肝炎等克服政策研究事業）「肝がん・重度肝硬変の治療に係るガイドラインの作成等に資する研究」から支出されています。尚、あなたへの謝金はございません。

研究分担者の浅岡良成は、本研究に関連する企業としてエーザイ株式会社から、コンサルタントとしての報酬を受け取っています。

6. 研究組織

○研究代表機関

国立研究開発法人国立健康危機管理研究機構 理事長 國土典宏

○研究分担機関

東京大学 医学部附属病院消化器内科・准教授 建石良介

慶應義塾大学 大学院経営管理研究科・教授 後藤励

【既存試料・情報の提供のみを行う機関】

全国のNCD参加施設 <http://www.ncd.or.jp/list/>

担当業務 データ収集・匿名化

7. お問い合わせ先

【中央病院の問い合わせ先】

国立がん研究センター中央病院

肝胆膵内科 森實千種

住所：東京都中央区築地5-1-1

電話：03-3542-2511

【東病院の問い合わせ先】

国立がん研究センター東病院

肝胆膵内科 池田 公史

住所：千葉県柏市柏の葉 6-5-1

電話：04-7133-1111

【研究代表機関】

国立研究開発法人国立健康危機管理研究機構

研究責任者 理事長 國土典宏

課題番号 : 5000-117

【問い合わせ先】

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 肝癌レジストリ長

帝京大学医学部附属病院・内科 浅岡 良成

住所 : 東京都板橋区加賀2-11-1

Eメールでのお問い合わせ : y-asaoka●med.teikyo-u.ac.jp

(●を@に置き換えください)